

大学院生 のための 進路選択 ガイド

Career Path Guide



S-cubic

研究が楽しくて
博士後期課程に
進学したけど…

アカデミアに
進みたいけど
将来が見えないし…

自分の専門を
活かせる企業が
思い浮かばない…

周りには
キャリア相談
できる同期が
少ないし…

研究が忙しくて
就職活動が
なかなか
できない…



そんなあなたは、まず企業と接し
てみよう、研究をするなら産業界と
いう広く大きな世界がある事に気が
付きます。

思いもよらない企業があなたの方
のような人材を探しているかも

P4でHi-Systemへまず登録、
P11へGo!

D2/D3/PD
Type.1

【研究没頭タイプ】

●一生懸命研究に没頭し、気づいたら…さて将来どうしよう!!

あなたはどのタイプ?

Type.2
M1/M2/D1

●DC進学か就職か、考え時だなあ…

●まだ余裕があるぞ、アカデミアか
企業か、しっかりと情報収集しよう!!

【計画設計タイプ】



そんなあなたは、自分の専門性の
活かし方を探ってみよう、そして
プラスアルファのスキル習得で大きく
幅を広げられるかも

P4でHi-Systemへまず登録、
P6へGo!

早いうちに複数の
選択肢を検討して
おきたい…

研究は楽しいけれど
博士後期課程は
将来が不安…

企業では
どのような研究が
できるんだろうか…

大学と企業って
研究のやり方が
違うのかなあ…

社会に出てから
役立つスキルを
身に着けたい

人材育成本部が提供するプログラム全体像

※どの段階からでも利用できます。

企業就職 ▶ 活動開始

実践参加型
(DC・PD)

⑩ 博士力実践インターンシップ

業務を経験
.....P15へ

⑨ 企業研究サイトビジット

企業で論議
.....P14へ

⑧ 赤い糸会

企業と論議
.....P12へ

⑦ J-window (キャリア相談)

DC・PD限定
.....P11へ

実践重視のD2、D3、PDへ

⑥ エントリーシート書き方セミナー

実践につなげる
.....P7へ

⑤ ビジネスマナーの基本と実践

常識を知る
.....P7へ

④ キャリアパス多様化支援セミナー

仕事を知る
.....P10へ

③ Advanced COSA / COLA

企業を知る
.....P8へ

② キャリアマネジメントセミナー

企業を知る
.....P6へ

余裕のあるM1～D1へ

① Hi-System 登録

まずは
ここから!

全員登録!
.....P4へ

意識改革型
(MC・DC・PD)

① Hi-System登録 (Registration to the Hi-System)

MC・DC・PD

イベントの
お知らせが
届きます
(Event News)

企業情報や
就職情報の
閲覧が可能
(Company Info)

企業への
自己PRを
発信できます！
(Expose your PR
Information)

Hi-System

若手研究者 (MC/DC/PD) の社会活躍をサポートするWEBサイト
Exclusive information exchange platform



僕はアカデミア志向…
だけどTransferable Skill
はどんな場面でも必要だ。登録
して活用しよう！



MCでの就職も、DC進学後に
就職するのもおもしろそう。
情報やイベント満載だわ！
早く登録しよっと。

まずはご登録
ください！

Hi-Systemへは人材育成本部ホームページよりアクセス！
<https://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/>
左バナー「Hi-System」→Hi-Systemログインページへ



みなさんをサポートするチームです

S-cubic

S-cubicは大学院生のキャリア形成支援活動を推進しています。DC進学を考えているMCから、DC在学生、またPDの皆さんが、特に産業界へ進むために必要な情報や実践スキルの提供、カウンセリング、産業界とのマッチングの場の設定、インターンシップ派遣など、幅広く濃密なサービスを提供しています。Hi-Systemに登録し、積極的に活用して下さい。

COFRe

COFReはS-cubicで実施しているプログラムに加え、11大学(東北大学、新潟大学、筑波大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、名古屋大学、立命館大学、大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学)の様々なプログラムを北大の皆さんに提供しています。是非、それらの開催情報をお知らせするHi-Systemに登録し、企業と皆さんのマッチングやスキルアップにご活用ください。

I-HoP

I-HoPは英語で学ぶ外国人大学院生や研究者のためのプログラムを実施しています。英語での相談など、是非ご利用ください。

Twitterはじめました



あなたの
研究人生は
どこに
つながって
いますか?

北海道大学S-cubic 博士のキャリア支援
@HokudaiDCcareer

北海道大学人材育成本部S-cubicとI-HoPです。博士を中心に大学院生のキャリア支援の取り組みを展開。現在開催中/予定のイベントはHPの左のバナーからも確認できます。140文字超の記事はnoteで公開中。 note.com/hokudaidccareer

北大の博士の方からの質問やご相談はホームページからお気軽に！

© 北海道札幌市 www2.synfoster.hokudai.ac.jp



博士のための情報を発信するために

Twitter を運営しています。

是非フォローをお願いいたします。

② キャリアマネジメントセミナー（授業） MC・DC・PD

1. 就職したい企業の分析法がわかる!
2. イノベーションの本質がわかる!
3. 企業の研究開発の考え方がわかる!



企業就職を目指す大学院生(MC・DC)や博士研究員(PD)向けの、1コマ毎の読み切りタイプの授業です。大学と企業での研究活動における考え方の違いや、企業研究人材として必要なマーケティング、マネジメント、プレゼンテーション、リーダーシップ、企画書の書き方など実践的な内容です。昨年は400人近くの受講者がありました。対面で実施の場合は、函館の水産科学院にも同時中継しています。

1. 大学院共通授業科目
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目
(研究指導科目を含む)
キャリア実践科目「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目
「キャリアマネジメントセミナー」(2単位)

2021年度実施予定

開催日時: 2021年4月～7月
毎週1コマ 全15回

受講方法(予定)

- ① Hi-Systemに登録し、イベント情報から「2021年度キャリアマネジメントセミナー」へ申込み。
 - ② 単位希望者は①に加えて所属部局に履修届を提出。
- ※詳細はシラバスをご覧ください

2020年度実施状況

※講義動画の配信により実施

	講義内容	講師	
1	イントロダクション	人材育成本部	吉原拓也
2	イノベーションを起こす	人材育成本部	吉原拓也
3	企業の種類と分析	新潟大学	樋口直樹
4	プレゼンテーション	物質・材料研究機構/ 元NHK科学番組ディレクター	小林隆司
5	知的財産マネジメント	人材育成本部	吉原拓也
6	アントレプレナーシップ	ベビログ	板羽宣人
7	マーケティング	日本電気	小糸達也
8	発想法	東京大学	藤本徹
9	商品創造/新商品開発	小林製薬	川西貴
10	企画書の書き方	人材育成本部	吉原拓也
11	企業(1)先端技術と新規事業	ソニー	矢藤有希
12	企業(2)先端技術と新規事業	ANAホールディングス	津田佳明
13	企業(3)先端技術と新規事業	ハウス食品グループ本社	上野正一
14	企業(4)先端技術と新規事業	NHKエデュケーショナル	石戸功一
15	リーダーシップ	大日本住友製薬	板倉朋宏



受講者の声



2020年度受講者アンケートより

キャリアに関して様々な選択肢があるのだと感じました。また様々な分野の違う企業の説明が聞けてキャリアに迷っている私にとってとてもためになる講義ばかりでした。

実際の企業での新規事業を教えていただき、それらを生み出す新たな視点を知ることができました。これまでの講義で学んだことを就活や就職後の働き方に活かしていきたいと思えます。

先輩からクオリティの高い授業である事は聞いていたが、これ程までに高いとは思わず驚かされた。毎回興味を持って話を聞けたためとても有意義だった。

⑤⑥ キャリアマネジメントセミナー（演習） DC・PD・(MC)

1. 就活のビジネスマナーが身につく!
2. コミュニケーション力が向上する!
3. 博士らしいESが書けるようになる!



社会との接点構築に必要なビジネスマナー（礼儀作法、服装、挨拶など）及びビジネスコミュニケーションに関するセミナーと、エントリーシートの考え方を学ぶセミナーです。

ANAビジネスソリューション(株)及び(株)エマージングテクノロジーズより経験豊かな講師をお迎えしています。

ビジネスマナーの基本と実践

2021年度実施予定

2021年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象

社会人としてふさわしい接遇の具体的な表現方法や、オンラインでのコミュニケーションのポイントをペアワークなどの演習をまじえながら学びます。

2020年度実施状況

※オンラインで実施



ANAビジネスソリューション・高原講師



2020年度受講者アンケートより

就職活動だけでなく、社会にでた後も使えるビジネスマナーを学ぶことができ、非常に良かったです。

普段意識することのないコミュニケーションでの癖に気づくことができました。

思ったよりもオンラインならではのコミュニケーションの方法があると知った。

エントリーシート書き方セミナー

2021年度実施予定

2021年8月～10月(予定)

MC・DC・PD対象(DC・PD優先)

理系博士向けのES書き方セミナーです。

就活関連企業のHPに掲載されている一般的な書き方ではなく、博士ならではの書き方を具体的に説明します。研究職を目指し就職活動をしている方に大変有効なセミナーです。

2020年度実施状況

※オンラインで実施



エマージングテクノロジーズ・深澤講師



2020年度受講者アンケートより

エントリーシートを書くためには、自分のやりたいことと社会にどのように役に立ちたいかを明確にすることが大切だということ学んだ。

博士人材に期待する人物像を教えていただいたので、自己PRの方向性を定めることができそうです。



その他、マスコミ関連就活のための作文の考え方などを開催。

③ Advanced COSA

MC・DC・PD

1. 企業の研究開発の実際を知ろう!
2. 企業人の研究開発人生を知ろう!
3. 企業で活躍する先輩達と話そう!



企業研究開発の第一線で活躍されている研究所長や研究部長クラスの方を主な講師としてお招きし、大学の中では触れることの少ない企業研究の実際やその魅力、研究マネジメントや博士の活躍ぶりなどを事例も交えて紹介します。また、若手企業人の北大博士先輩もお呼びして年齢の近い企業研究者のお話しも盛り込みます。2日間の集中講義です。

1. 大学院共通授業科目
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
—Advanced COSA(1)、(2)—(各1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「理系・科学技術系大学院生のステップアップキャリア形成I、II」
(Advanced COSA(1)、(2)) (各1単位)
3. 水産科学院修士課程学院共通科目
「ステップアップキャリア形成I、II」(各1単位)

2021年度開催予定

Advanced COSA(1):2021年7月頃(予定)
Advanced COSA(2):2021年11月頃(予定)

スケジュール

(1日目)

- ・ガイダンス(30分)
- ・企業講師①講演(120分)
- ・昼休み(60分)
- ・質疑応答(60分)
- ・企業講師②講演(120分)
- ・質疑応答(60分)
- ・懇親会(90分)

(2日目)

- ・企業講師③講演(60分)
- ・質疑応答(50分)
- ・企業講師④講演(60分)
- ・昼休み(60分)
- ・質疑応答(50分)
- ・企業講師⑤講演(60分)
- ・質疑応答(50分)
- ・総括討論、まとめ(30分)

※詳細はシラバスをご覧ください

これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

- | | |
|------------|--------------|
| ■ IHI | ■ デンソー |
| ■ アステラス製薬 | ■ 東急建設 |
| ■ アラヤ | ■ 日本製鉄 |
| ■ 大塚製薬 | ■ 日本電気 |
| ■ 花王 | ■ ノバルティスファーマ |
| ■ キューピー | ■ パナソニック |
| ■ クラシエ製薬 | ■ 日立製作所 |
| ■ サッポロビール | ■ 堀場製作所 |
| ■ サントリー HD | ■ マルハニチロ |
| ■ JSR | ■ 三菱電機 |
| ■ JNC | ■ メタジェン |
| ■ シスメックス | ■ ヤンマー |
| ■ 資生堂 | ■ ライオン |
| ■ 住友化学 | ■ ラクオリア創薬 |
| ■ 第一三共 | ■ レノバ |
| ■ ダイセル | ■ ロート製薬 |
| ■ 大日本住友製薬 | |

2020年度実施状況

※講義動画の配信により実施



クラシエ製薬・高橋講師



堀場製作所・鉤講師



ダイセル・玉置講師



メタジェン・伊藤講師



マルハニチロ・東講師



ラクオリア創薬・渡邊講師



三菱電機・杉浦講師



アラヤ・藤澤講師



ヤンマー・前島講師



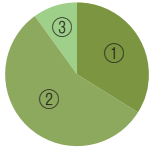
ライオン・須藤講師

2020年度受講者アンケートより

質問1:企業での研究開発に魅力を感じたか?

- ①大変魅力を感じた
- ②ある程度魅力を感じた
- ③どちらでもない
- ④感じられなかった

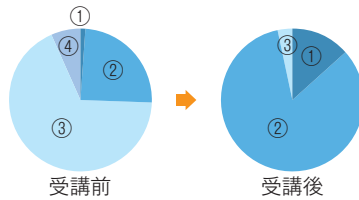
①②の肯定的な感想が90%



質問2:講義を聴く前後での企業研究の理解度の変化

- ①よく理解している
- ②ある程度理解している
- ③よく理解していない
- ④全く理解していない

①②のある程度以上 理解の比率が26%→97%



■受講生より■

- 大学院を卒業した後に、自分でキャリア選択する際の参考にした内容ばかりだった。実際に企業で働くことを考えると漠然と不安な気持ちになっていたが、5人の講師の方の考え方やビジョン、現在の仕事などについて知ることができたので少しイメージが具体的になった。
- 企業の方々の略歴や経歴に際し、字面だけではわからない選択の時々感情や考え方を直接お話しして聞くことができたので大変興味深かった。普通なら直接聞けないような内容も、自らお話ししていただいたことで、様々な人生のサンプルを得る貴重な機会となった。
- 先輩方がどのような道を選んで今の仕事をしているかを聞けたので、企業に就職するというイメージを持ちやすくなった。また、本音を語ってくれたような印象をうけ、とても積極的に受講することが出来た。

先輩からひとこと

Message

玉置 瞳美

株式会社ダイセル
事業創出本部コーポレート研究センター
H28年3月 北海道大学 大学院
総合化学院 博士後期課程 修了



進路について悩みがありますか?

どんなスキルを持って社会人になればいいか不安に思いますか?

このような気持ちを少しでも軽くできればと思い、私の経験を書きます。

私は北海道の田舎で生まれ、のんきに育ちました。性根は負けず嫌いではあるものの、「人と張り合う」「自分をよく見せる」能力を持ち合わせていないと気づいたのが、修士で就活した時です。就活は上手く行かず、教師になろうと思いましたが、ありがたいことに教授は博士課程の進学を強く勧めてくださいました。進学し教職を受けることにしました。進学して良かったことは、研究は「こなすだけ」から「結構好き」に格上げされたことです。研究が好きになったので再度就活をしました。アカデミアを選ばなかった理由は、自分色を出す自信も、時間を忘れて没頭することも無理だと判断したためです。また、教育実習で教師も向ききませんでした。もちろん博士の就活も手こずりましたが、吉原先生と前任の樋口先生に助けていただいて、無事ダイセルに入社できました。

大学では有機化学を専門としていましたが、ダイセルでは評価解析GRIに配属され、高分子の物性評価を担当しました。十分一人前だと自負しはじめたころ、いまのグループに配属され、企画の業務をすることになりました。最近痛感することは、社内外でのコネクションが大事だということです。様々な人の知識と知恵を借りることで、達成できることが各段に増えます。私は、小さい輪で済ませたいし、知らない人に連絡したくないのですが、仕事が進まないのでもやむしかありません。また、小さい輪で済んでいるうちは受け身の仕事に分類されることにも気づきました。

最後に私からのアドバイスは、自分のコミュニティーを広げる覚悟を持つこと、後悔する覚悟を持って人生を選択することです。後悔したら、そこからやり直せばいい、そう思っています。皆様のご活躍を期待しています。

Advanced COSA に参加して

Message

水田 崇聖
北海道大学 大学院
理学院 物性物理学専攻 (DC3)
R3年 3月修了予定
→三菱電機株式会社内定



Advanced COSAへの参加は2年間で都合4回に上ります。最初に受講したのは、博士1年の夏のことです。企業での研究開発を知ることが当初の目的でした。しかし、これだけに終始しないのがAdvanced COSAの良いところです。私の関心を惹いたのは、とりわけ研究所長クラスの方のキャリア形成や若手の先輩方の進路選択といった話題でした。

進路選択やキャリア形成の根底には、その中をつらぬいてきた、ないしはその中で変容してきた、その人に固有のものの方の見方や考え方が脈打っています。Advanced COSAを受講してみれば、こうした価値観の多様性を垣間見ることができそうです。なかでも、自身のものと相容れない異質な価値観からは、きわめて多くのものを得ることができそうです。

われわれはともすると、無意識のうちに自己の価値観を当然のものと思わず、自身の生き方をその価値観が規定する枠の中へと押し込めてしまいます。異質な価値観を理解することは、この自己の価値観がいつはあたりまえのものではなかったのだという認識へ至る契機となります。このとき、自己の価値観は明確に認識しうるものとなり、さらに実践的には、自己の既存の価値観が止揚され、自身を拘束していた枠がのりこえられる可能性がひらかれることとなるのです。Advanced COSAが与えてくれるのは、その足がかりに他なりません。

価値観の相対化は、思いなしから解放された見晴らしをわれわれの視界にもたらします。この見晴らしこそが、人生における自由な選択を可能にするのです。それでも結局のところ、ひとつひとつの選択においてわれわれが選び取るのは、やはり絶対的なものではない、ひとつの道に過ぎません。けれどもこうした認識は、ひらいて、過程としての道それじたいがコンサマリーなものとして享受されるようなあり方を切り開いて見せてくれるものでもあると私は思っています。

Advanced COLA

MC・DC・PD

人文・社会科学系大学院(博士課程)を修了後、アカデミアではなく産業界にその活躍の場を見出された企業人の方をお招きし、大学の中ではなかなか知ることのできない企業活動の実態やその魅力を語っていただくとともに、人文/社会科学系の学位の意義についても論議します。

2020年度実施状況

※講義動画の配信により実施



日本入試センター-秋月講師



朝日新聞社-間講師



北海道開発技術センター-小西講師

2019年度受講者アンケートより

アカデミックポストのみに留まらない、多様なキャリアが広がっている(広がっている)ことを実感でき、自分のすべきことが明確になったような感じがしました。

博士課程に進んだ方々が、社会でどのように活躍されているのか、また学生時代の研究分野とどのように向き合っているのかを知ることができてよかったです。

④ キャリアパス多様化支援セミナー MC・DC・PD

1. 試験管を振る以外の理工系人生!
2. これからは交渉力が無いとダメ!
3. 自分のアイデアやスキルで起業!



キャリア形成に必要な情報の提供や能力の開発とともに、企業におけるプロジェクト推進の実際や、大学院生が大学内では得ることが難しい多様なキャリアの実際情報を、既にそのキャリアを獲得した社会人を招いて講義をしていただく内容です。具体的には研究者と最もかわりの深い知的財産権を扱う仕事、これからますます必要になる交渉学などについて、テーマを絞って講演いただきます。

1. 大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」(1単位)
2. 生命科学 生命科学専攻 大学院(博士)専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください(単位に関してはDC限定)

2021年度実施予定

I(交渉学):2021年6月頃(予定)

交渉学を学習するために作成されたケースを用い、交渉の事前準備と交渉シナリオ作成、ロールシミュレーション(模擬交渉)の実施と交渉結果のフィードバックを通じて交渉学の基礎を実践的に学びます。

II(プロジェクトファシリテーション):2021年7月頃(予定)

会議運営の課題を共有し、ファシリテーションによる効率的かつ効果的な会議運営術を学びます。ファシリテーションとは、グループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行うこと、またそのための技術のことを指します。

III(知的財産権):2021年12月頃(予定)

企業での研究開発成果は知的財産権で保護する必要があります。そのためには技術を熟知し、論理的思考能力を発揮できる人材が必要になります。企業の知財活動の実際を学び、自身の可能性を探求します。

これまでの講演企業

(敬称略、五十音順)

■ IT教育研究所	■ 太陽国際特許事務所
■ アカリク	■ 東京富士大学
■ 味の素	■ 日本電気
■ 内田・鯨島法律事務所	■ ノエビア
■ AgIC	■ パナソニックIPマネジメント
■ 王子HD	■ ビザスク
■ オリジナルペット	■ 日立製作所
■ 金沢工業大学	■ 富士フイルム
■ カブク	■ 古河ファイナンス・アンド・ビジネス・サポート
■ 神戸製鋼所	■ ブルックス
■ サントリー HD	■ ベビログ
■ ジーンクエスト	■ みずほ情報総研
■ シスメックス	■ メタジェン
■ 積水化学工業	■ メルティンMMI
■ セルバンク	■ リバネス
■ ソニー	
■ 大日本印刷	

2020年度実施状況

※オンラインで実施

I プロジェクトファシリテーション



古河ファイナンス・アンド・ビジネス・サポート 関講師

2020年度受講者アンケートより

会議という場への恐怖、抵抗感が薄らぎました。綿密な計画を元にこの講義が成り立っているということを最後に紹介していただき、そのことも含め会議において準備がいかに大事か、ということがよくわかりました。

自分はファシリテーションが苦手だと気づくことができたので、意識して実践することで克服していきたいです。

II 交渉学



東京富士大学 隅田講師

2020年度受講者アンケートより

交渉に対してドライな印象を持っていたが、両者の共通点を見いだせてクリエイティブな関係に持って行けることを知れて交渉の価値がわかりました。

知っている知識を体験を通して学べたり、合意形成のシミュレーションの形としてどうあるべきかを考える上で参考になりました。



ソニー・矢藤 講師 みずほ情報総研・野口 講師 太陽国際特許事務所・上原 講師

2020年度受講者アンケートより

コンサルにも知的財産業務が存在するということはとても驚きだった。また複数の知的財産に携わる職場が紹介されていたため、それぞれの業務の特徴がとても分かりやすかった。

このような仕事についてほとんど知らなかったなので、知る機会を得られてよかった。

⑦ J-window (キャリア相談)

DC・PD

1. 企業と博士の接点を構築します!
2. 博士専用キャリア相談窓口!
3. 自分の特徴を活かす進路を探索!



主な就職先

(敬称略、五十音順)

■ アクセンチュア	■ クラシエホールディングス	■ 島津製作所	■ 東芝	■ パスコ	■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
■ 旭化成	■ クレハ	■ 昭和電気	■ 同仁医薬化工	■ PwCコンサルティング	■ 三井化学
■ アステラス製薬	■ 神戸製鋼所	■ 住友化学	■ 東レ	■ 日立製作所	■ 三菱電機
■ 出光興産	■ コーセー	■ ソミック石川	■ トクヤマ	■ プリチストーン	■ ヤフー
■ 京セラ	■ 塩野義製薬	■ 第一三共	■ 日東電気	■ 古河電気工業	■ リコー
■ 協和キリン	■ 資生堂	■ 大日本印刷	■ 日本電気	■ マイクロンメモリジャパン株式会社	
■ キリンホールディングス		■ 中外製薬	■ 日本製鋼所		

J-window を活用して

Message

秋田 郁美
北海道大学 大学院
工学院 材料科学専攻 (DC3)
R3年 3月修了予定
→大日本印刷株式会社内定



私が初めてJ-windowを利用したのは、博士2年の夏ごろです。J-windowの進路相談では、博士の就職活動に対して一貫したサポートを受けることができます。私の場合は「就職活動って何から始めたらいいんですか?」という相談から始めて、企業研究の仕方、企業との接点構築、選考対策までサポートしていただきました。「人材育成本部はES添削・面接対策をしてくれるところ」という勝手なイメージがあって、志望企業も決まっていない自分には早いかかと不安に思っていました、思い切って面談を申し込んでよかったです。

特に志望動機の掘り下げは一人では絶対にできませんでした。他人へ向けて説明することを通して新たな発見や、盲点の気づきがあるのは研究でも同じだと思います。自分の思い込みや暗黙の前提を明らかにするとともに、将来的にやりたい仕事から逆算して、どういった企業を選ぶべきか、志望動機とどのように結びつけるのかの指針を示してくださいました。また企業に対するアピール方法への指導も大変参考になりました。初めは研究内容や業績を中心に伝えていましたが、面談や添削を経て、自分のどこが企業にとって魅力的だと思うのか?という視点を加えて、両者のバランスを取ったアピールが出来るようになりました。研究発表との違いに戸惑うこともありましたが、面談での作戦会議と赤い糸会などでの実践を繰り返すうちに、徐々に企業の方と意思疎通できていく実感が得られ、選考時の自信に繋がりました。

研究が思うように進まないことも多いなかで就活に時間を割くことを後ろめたさを感じていましたが、J-windowを活用することで時間・空間的に就活と研究を切り離して、短時間で集中して対策できたので、精神的にもとても助かりました。いつも温かく迎えてくださった人材育成本部の先生方、スタッフのみなさまに心から感謝いたします。これから進路選択をする学生のみなさんも、ぜひJ-windowを利用してみてください。

J-window を活用して

Message

田口 陽大
北海道大学 大学院
農学院 応用生物学専攻 (DC3)
R3年 3月修了予定
→中外製薬株式会社内定



私にとってJ-windowは就職活動の全ての不安と戦う支えでした。博士課程学生の就職活動はとにかく不安との戦いだと思います。ポスト、時間、情報、そして相談できる人、全てが不足し、不足による不安に押しつぶされそうでした。この不安を乗り越えられたのはJ-windowのサポートがあったからだと思います。

最初お世話になったのは面接練習です。初めての面接を前に、相談できる先輩もおらず困っていたため、J-windowの模擬面接をお願いしました。実際に人を目の前に話すと、緊張で何を伝えたいのか自分ですら分からなくなる始末で、本番形式の練習の重要性を実感しました。面接指導では、話す内容を整理していただき、面接作法から話し方の癖まで細かに教えていただきました。また、面接の進度に合わせた模擬面接を何度も用意して下さったことも内定を獲得できた大きな要因だったと思います。

一歩進んだ企業勉強を可能にしたのもJ-windowでした。研究業務を疎かにできなかったため就職活動に十分な時間が割けず、情報収集に苦しみました。吉原先生は業界を「大人」の目線で説明してくれました。誰でも手に入る情報ではなく、会社での経験があるからこそその視点から企業の動向を知ることができ、より具体的な自分の意見を持つことができました。

温かさも印象的でした。短期間に図々しく何度も、しかも突然に模擬面接を申し込んできた私に対しても、J-windowの皆さまは嫌な顔せず愛を持って指導していただきました。吉原先生に大丈夫だと言ってもらえたことが自信につながり、安心して本番を迎えることができました。気持ちの面でも応援していただいたと思っています。

就職活動中は孤独を感じがちですが、そんな就活生をJ-windowはそばで支えてくれます。技術、情報、そしてメンタル全ての面であなたをバックアップしてくれるはずですよ。

最後になりましたが、吉原先生はじめ人材育成本部の方には本当にお世話になりました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

⑧ 赤い糸会 (赤い糸ONLINE)

DC・PD



1. 博士に対する企業の期待を聞く!
2. 博士の力を企業にアピールする!
3. その後に繋がる濃密な相互交流!

赤い糸会は異なる業界の企業と様々な分野の博士人材が相互交流し、博士人材が活躍できる場を探索するマッチングの場です。参加企業は自社の事業や研究開発の内容および博士人材への期待を公表し、博士人材は自身の研究内容や人となりをアピールし、さらには意見交換することにより、研究所見学やインターンシップ、個別相談等の次のステップに繋がります。従来は対面で実施していましたが、2020年度はオンラインで実施しました。2021年度の実施形態は未定です。

1. 大学院共通授業科目
「博士研究者のキャリア開発研究—赤い糸会—」
(1単位)
2. 生命科学院 生命科学専攻 大学院(博士)
専門科目(研究指導科目を含む)
「博士研究者のキャリア開発研究 (赤い糸会)」
(1単位)

後期に開催される年間3~4回の赤い糸会のうち1回、ならびに各赤い糸会に付随するプレゼンテーション演習1回を受講、さらに年間3回程度開催のキャリアパス多様化支援セミナーのうち少なくとも1回参加が単位取得の必須要件です。

※詳細はシラバスをご覧ください

2021年度実施予定

2021年9月~12月に3回程度実施予定

オンライン実施の場合の内容

- ・企業動画視聴
- ・博士人材動画視聴
- ・チャットによる意見交換
- ・企業とのライブ交流
- ・反省会(博士人材交流会)

2020年度参加企業

(敬称略、五十音順)

■ AWL	■ 第一三共	■ 富士通研究所
■ 旭化成	■ ダイセル	■ プリヂェストン
■ 朝日新聞社	■ 大日本印刷	■ 古河電気工業
■ アステラス製薬	■ 大日本住友製薬	■ 堀場製作所
■ アミノアップ	■ 太陽HD	■ みずほ第一フイナン
■ アルピオン	■ 竹中工務店	■ シャルテクノロジ
■ ウェザーニューズ	■ 田辺三菱製薬	■ 三菱ケミカル
■ エーザイ	■ 中外製薬	■ 三菱電機
■ SAPジャパン	■ データフォーシーズ	■ ヤフー
■ 大塚製薬	■ テクノデータサイエンス・	■ ラクオリア創薬
■ 京セラ	■ エンジニアリング	■ リコー
■ クレハ	■ テルモ	■ リッジアイ
■ ケンブリッジコンサル	■ 東急建設	■ ロート製薬
■ タンツ	■ 東京エレクトロン宮城	
■ 神戸製鋼所	■ 東芝	
■ コーセー	■ 同仁医薬化工	
■ コニカミノルタ	■ トクヤマ	
■ 三桜工業	■ とめ研究所	
■ JSR	■ 日本製鉄	
■ 塩野義製薬	■ 日本電気	
■ シスメックス	■ 日本IBM	
■ 資生堂	■ 日本たばこ産業	
■ 島津製作所	■ 日本電信電話	
■ 信越化学工業	■ 日本入試センター	
■ 住友化学	■ ノーベルファーマ	
■ 住友金属鉱山	■ ノバルティスファーマ	
■ セイコーエプソン	■ パナソニック	
■ 積水化学工業	■ 日立製作所	

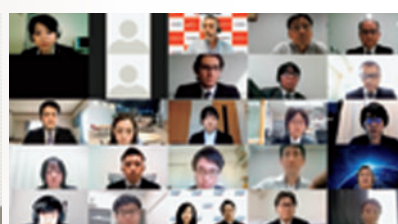
2020年度実施状況



赤い糸ONLINE専用サイト



個別交流会の趣旨説明



個別交流会



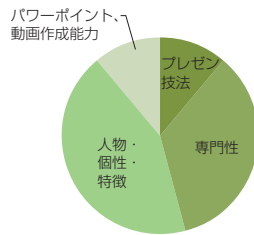
個別交流会の運営

2020年度の総参加延べ数 企業:98社、研究者:130名

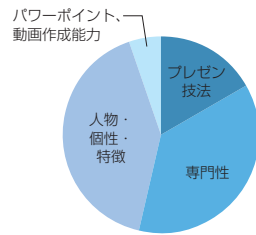
2020年度のアンケート結果

プレゼンテーション動画について

博士人材がアピールできた点



企業が注目する点



■DC、PDより■

- これまで事業／研究開発内容をメインに就職先を絞っていたが、特に交流会を通じて各社の風土の違いのようなものを感じ、その点も選ぶ上で非常に重要だと感じた。
- 自分の能力が活かせる企業が多い、想像していたより。
- 自己アピールの仕方や、会社が博士人材に求めていることを学ぶことができ、このような就活体験は初めてでしたが、とても勉強になりました。

■企業担当者より■

- 専用サイト、zoomでの交流ともに非常にスムーズでした。また、専用サイトの動画については、どの参加者の方もわかりやすく工夫を凝らして作成されており、非常に驚きました。
- チャットで多くの質問をいただき、学生様がどのような点を気にかけているのか、どんなことを知りたいと思っているのかを知ることができ参考になりました。
- 学生と企業とで相互に発信、コンタクトを取れ、双方にとって効率的にマッチした相手が見つかると感じた。

OBとして赤い糸会に参加して

羽山 慶一

株式会社コーセー
研究所 スキンケア製品研究室 スキンケア製品グループ
R2年 3月 北海道大学 大学院
総合化学院 博士後期過程 修了



昨年度までお世話になった赤い糸会に、今年度は企業人として参加させていただき、学生の頃には見えていなかった多くの気づきがありました。赤い糸会に参加すべきということは「言うまでもない」ので、ここでは赤い糸会や就活に挑む上での心構えを1点だけ、僭越ながらお伝えしたいと思います。

それは「どう見られているか/見られたいかを意識する」ということです。これができている方が少ないな、と正直感じました。企業側は、学生が想像している以上に学生のことをよく見ています。実際、交流させていただいた方皆さんに対し、様々な印象を感じとることができました。そのため限られた時間の中で、企業側に良い印象を与え、自分の魅力を最大限に伝えなければなりません。しかし今年はオンライン開催となり、研究発表は録画、交流もZOOMと、例年に比べてアピールが難しかったと思います。そのため皆さんがこれまでに培われてきた高度な研究力や技術力が十分に伝えられていないケースも多く、とてももったいなく感じています。誰もが苦戦するであろうオンライン就活だからこそ、見せ方をより一層工夫してほしいと思います。また「自分のことを知らない人と交流する機会をつくる」努力をしてほしいと思います。自分の性格や研究内容を知っている人とばかり接していると、自分のことをどう見せるかという意識が失われてしまうように思います。コロナ禍で人との接触が制限される状況ですが、ぜひオンラインツールを駆使して、普段接することのない人ともコミュニケーションをとるようにしてほしいと思います。

本州と海で隔たれ、修士学生に比べて就活に割ける時間も少ない、北大博士学生の就活は正直不利です(笑)。限られた貴重なチャンスをものにするためにも、上記の点を意識していただけたらと思います。

人材育成本部の皆様、この度は赤い糸会参加の機会をいただきまして誠にありがとうございました。来年度こそぜひオンラインで直接皆さんと交流し、そして北海道の幸を頂きたいと考えております。今後とも宜しくお願いいたします。

赤い糸会に参加して

大内 まり絵

北海道大学 大学院
理学院 物性物理学専攻 (DC3)
R3年 3月修了予定
→昭和電工株式会社内定



会社説明会などは学士・修士学生向けのものが多く、博士課程の学生向けのものは少ないです。さらに、地理的にも北海道の学生は、インターシップや説明会への参加のハードルが高くなってしまいます。私は大学院修了後の就職先として、高専の教員なども視野に入れて活動していたこともあり、民間企業への就職の意識が低く、気が付けば博士2年の就職活動時期になっていました。何から始めれば良いか、右も左も分からない状態でしたが、先輩に勧められ、就職活動の一步として赤い糸会に参加しました。

博士課程の学生は、専門の基礎知識を持っている人に対して、自分の研究を説明する機会は何度もあります。しかし、全く畑違いの人に自分の研究をわかりやすく噛み砕いて説明する機会は少ないかと思います。私も、それまで企業の方と話したことがなかったので不安でしたが、発表練習では同期や人材育成本部の方々からの確かなコメントをいただけて、大変勉強になりました。また、他専攻の同期と交流したことによって刺激を受け、自分の将来をより考えるきっかけにもなりました。

赤い糸会は一日中のイベントなので大変ですが、それだけじっくりと企業の方と交流することができます。これほど多くの企業が集まる、大規模な博士課程向けの就職イベントは、全国規模で見てもほとんどないと思います。私は赤い糸会での出会いによって、それまで全く考えていなかった化学メーカーから内定をいただくことが出来ました。化学は得意ではなかったのですが、自分が化学メーカーに就職するとは想像していませんでしたが、今まで培ってきた力を発揮できるような会社とマッチングできたと感じています。このように思いがけない出会いもあるので、自分の研究と同じような業種だけではなく、広い視野を持って、異分野の業界にも目を向けてほしいと思います。企業に就職するにしても、研究を続けるにしても、多角的に物事を捉える視点は必要だと思うので、一度赤い糸会に参加してみたいかがでしょうか。

プレゼンテーション演習

「赤い糸会」に参加する博士人材は学会で専門家を相手に自身の研究内容を発表することには慣れていますが、ここに参加する企業の担当者は研究内容に関してはあまり詳しくない場合が多いです。そのような相手に対し、専門性の高い内容をそのままぶつけても理解されません。本プログラムでは一般の人々に如何に自身のスキルや人間性を伝えるかを修得します。2020年度は、赤い糸ONLINEに用いる動画の作成について演習しました。

2021年度開催予定

各回の赤い糸会に先立って実施予定



⑨ 企業研究サイトビジット

DC・PD

1. 実際に企業活動の現場を見よう!
2. 企業視線での自身のスキル評価!
3. 大学と企業で研究の差異を認識!



「赤い糸会」に参加し、企業との接点を構築した博士人材を、ただ企業を訪問するだけではなく、実際に企業の研究者の前で自身の研究内容を発表し、企業研究の目線で見たコメントや指摘を得、意見交換をすることにより、具体的な産業界への出口のイメージを構築します。

2021年度実施予定

年3回程度実施予定

※2020年度は新型コロナウイルスの影響により実施なし

これまでの訪問企業

(敬称略、五十音順)

■ IHI	■ シスメックス	■ 東レ
■ 旭化成	■ 資生堂	■ 特許庁
■ アステラス製薬	■ 秀和特許事務所	■ 日本電気
■ 大塚製薬	■ 住友化学	■ パナソニック
■ カネカ	■ ダイセル	■ 三菱電機
■ 京セラ	■ 大日本住友製薬	■ 三菱レイヨン
■ 神戸製鋼所	■ 田辺三菱製薬	■ ヤンマー
■ サントリー HD	■ 帝人	

2019年度実施状況



大日本住友製薬



アステラス製薬



京セラ



旭化成



資生堂



資生堂・ポスター発表



東レ



サントリー

企業研究サイトビジットに参加して

田中 亮

北海道大学 大学院
生命科学院 生命科学専攻 (DC3)
R3年 3月修了予定
→旭化成株式会社内定



私は、就職活動を本格的に意識し始めたD2の夏頃から赤い糸会に参加していました。その際に、企業研究サイトビジットを紹介いただき、京セラ株式会社と旭化成株式会社を訪問しました。このイベントでは、会社説明と研究所見学、学生の研究発表、懇親会などを通じて企業で働く研究者と交流することができ、企業のホームページやパンフレットで調べただけでは、化学メーカーの研究職に対して具体的なイメージを持てなかった私にとって貴重な経験になりました。学生の研究発表では、非常に専門的な質問の他にコスト、安全性やどういった応用が考えられるかなど、普段あまり意識しない指摘があり、企業の研究者がどういった点に注目するのかわかることが出来ました。また、様々な専門分野の学生が参加していましたが、どの参加者の発表でも活発な議論をしていただき、企業の研究者の視野の広さを感じる事が出来ました。懇親会では、研究テーマの決め方や具体的な業務内容などの仕事の話から、休みの日に何をしているかといった、説明会では質問しにくい話まで聞くことが出来、会社の雰囲気をもより深く知る機会になったと思います。私の場合は、旭化成の若手研究者の方々、今取り組んでいるテーマをどうしたいか、次にどんなことに挑戦したいかを熱心に語っている姿に魅力を感じ、旭化成の研究職を志望するきっかけになりました。

新型コロナウイルスの影響で、対面での説明会やインターンシップ等に制限がかかる状況が続くと予想され、企業活動を直接見聞き出来る機会は益々貴重なものになると思いますので、チャンスがあればぜひ本交流会への参加をお勧めします。最後に、貴重な交流の機会をいただきました企業の方々に感謝申し上げます。また、多大なるご支援をいただきましたS-cubicの皆様にも感謝申し上げます。

⑩ 博士力実践インターンシップ

DC・PD

1. 実際に企業活動を体験してみる!
2. 自身が企業に向いているか判断!
3. 企業ならではの新しい視点獲得!



国内外の先進企業(グローバル企業・ベンチャー企業・オンリーワン企業)や公的機関、大学も含めたインターンシッププログラムです。企業における研究開発等の実体験を通して、説明会だけではわからない多様な社会での活躍方法を体得する機会です。企業が公募しているインターンシップにとどまらず、希望する企業との接点づくりから支援します。是非この機会に応募されませんか?

2019年度実施状況

院生	インターンシップ先	所在地	期間
生命	DC2 化学	山口県	1か月
理学	DC2 金融工学	東京都	1か月
環境科学	DC3 海外大学	オーストラリア	1か月
総合化学	DC2 化学	京都府	1か月

2020年度実施状況

院生	インターンシップ先	所在地	期間
情報科学	DC2 化学	京都府	1か月
医理工学	DC2 金融工学	東京都 ※リモートで実施	7週間
理学	DC2 金融工学	東京都 ※リモートで実施	6週間

インターンシップ概要

対象者	北海道大学に所属する博士後期課程院生、博士学位取得後5年以内の者(パーマネント職員を除く)
人数	10名
受入企業	国内外の企業・大学
期間	1~3ヵ月程度
条件	学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険(インターンシップ保障)に加入すること。その他詳細条件は受入企業によって異なる。

受入企業からの声

企業が博士に期待するもの

- 競争を勝ち抜く強い意思
- グローバルな視点と統合力
- 自ら課題を発見し、その解決策を生み出す力
- 市場のニーズを敏感に感じ取る知性と感性
- 基盤となる学術の確実な理解と、常に自ら学ぼうとする強い意欲に裏打ちされた異分野技術者とのコミュニケーション能力とフレキシビリティ

企業にとってのインターンシップの意義

- 大学との関係構築、協力関係の深化
- 優秀な人材の確保、発掘
- 新技術、新テーマの導入促進効果
- 職場の活性化
- 企業のPR

大学院博士後期課程で伸ばしておくべき能力

- 習った知識を駆使して問題を設定し、解決していく能力
- 複雑な課題を整理する能力
- 論理的に考える能力
- アイディアを創造していく能力
- 異分野技術者とのコミュニケーション能力
- 文章で的確に情報を伝える能力
- 社会に対する幅広い関心

インターンシップに行くまでの流れ



<ul style="list-style-type: none"> ■ アミノアップ化学 ■ アルファ水工コンサルタンツ ■ 医学生物学研究所 ■ 花王 ■ カネカ ■ 京セラ ■ クラシエ製菓 ■ 栗山町農業振興公社 ■ KDDI研究所 ■ 高研 ■ 神戸製鋼所 ■ サントリー HD ■ JFEエンジニアリング ■ JAきたみらい ■ JNC 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 塩野義製薬 ■ シスメックス ■ 島津製作所 ■ 住友化学 ■ 住友電気工業 ■ セラバリュース ■ ダイナックス ■ 帝人 ■ データフォーシース ■ 東急建設 ■ 東芝 ■ 東レ ■ 日生バイオ ■ ニッピ ■ 日本製鉄 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本電気 ■ 日本IBM ■ 日本アレフ ■ 日本ゼオン ■ 日本データサービス ■ パナソニック ■ 阪大微生物病研究会 ■ ピアメカニクス ■ 日立製作所 ■ 富士通研究所 ■ 北海道システム・サイエンス ■ マルハニチロ ■ みずほ第一フィナンシャルテクノロジー ■ 三井化学 ■ 三菱電機米国研究所 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヤンマー ■ リコー ■ リバネス ■ ロート製薬 ■ Alberta University ■ Bejo Seeds ■ Duke University ■ Dupont Pioneer ■ IAEA ■ NemGenix ■ New South Wales University ■ Sapienza - Università di Roma ■ Starfighters ■ Texas A&M University ■ The University of Massachusetts
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

インターンシップに参加して 文野 優華

北海道大学 大学院
生命科学院 生命科学専攻 (DC3)
R3年 3月修了予定
→株式会社トクヤマ内定



■インターンシップ参加の経緯

私は以前、協和発酵バイオ株式会社、株式会社日本触媒、Johnson Mattheyの3社の研究所を見学したことがありました。研究員の方々との交流を通じて、これら3社は事業内容だけでなく社風や目標、求める人材までも大きく異なることを実感し、実際に行ってみないと会社の雰囲気の違いはなかなか分からないなと思いました。そこで、私は勤務地に希望があったため、希望エリアに研究所を持つ企業の一つ、「帝人ファーマ株式会社」のインターンシップに参加し雰囲気をみることにしました。

■インターンシップの内容

製剤化学研究部門に2週間、プロセス研究部門に1週間、融合研究部門に1週間滞在しました。各部門でテーマが与えられ、背景の勉強、実験、簡単な成果発表を行うのが主な体験内容です。私は有機合成化学が専門ですので、プロセス研究部門の仕事が普段の研究と近い分野となります。同じ分野での体験からは、自分のスキルや知識が活かせるのか、大学と企業の研究どちらが向いているのかを知ることができ、一方異分野での体験からは、自分の適応能力や分野を超えた研究力を測ることができました。仕事以外でも、各部署で歓迎会をしてくださるのはもちろん、様々な部活動、球技大会、旅行や花火大会などにも連れて行っていただき、沢山の方にお話を伺うことができました。

■メッセージ

インターンシップは、就職活動の際に必要な情報をふんだんに得られるのはもちろん、自分がその会社に合っているかどうかを知ることができる貴重な機会です。またたとえその会社に入らなかったとしても、就職する企業以外での業務経験をこれほど簡単に得られる機会はそうありません。帝人は選考が遅かったため就職には至りませんでした。インターンシップで得た1ヶ月間の経験は自分の糧になったと自信をもって言えます。皆さんもできることはすべてやって、後悔のない就活にしてください。

インターンシップに参加して 山本 祐輔

北海道大学 大学院
保健科学院 保健科学専攻 (DC3)
R3年 3月修了予定
→株式会社リコー内定



私は、企業での研究に興味がありましたが、アカデミアの研究とは何が違うのか、どんな雰囲気で行っているのかについて知りたいと思っていました。しかし、聞いた情報だけでは具体的なイメージが湧かず、自分のバックグラウンドを生かせるのか分からないという不安もありました。そこで、インターンシップに参加させていただくことで、実際の企業での研究はどのようなものを自分の目で見て体験しようと考えました。

インターンシップに参加する企業を株式会社リコーに決めました。最初は、赤い糸会への参加でした。正直、最初はコピー機のイメージが強い印象だったのですが、社員の方々のお話を聞く中で、医療分野にも注力されていることを知り、大変興味を抱きました。よく人材育成本部の吉原先生が仰っている「思わぬ出会い」とはまさに、このことだろうと感じました。

実際にインターンシップを開始するまでは、同じ医療分野とはいえ、私の研究分野とは全く異なる内容のインターンシップだったため、楽しみな反面、緊張や不安が尽きませんでした。しかし、いざ参加してみると、社員の方々の丁寧なご指導のおかげで、抱えていた不安が一気に吹き飛び、新鮮で刺激的な日々を過ごすことが出来ました。そして、知識を得るための勉強をしつつ、分からないことは素直にお聞きし、無事に報告会まで成し遂げることが出来ました。

今回のインターンシップはD1で参加させていただきましたが、早い時期からインターンシップに参加したことで、就職活動を早めに意識でき、じっくりと自分の興味のある分野や企業を選ぶことができたので、就職活動が本格的にスタートしてから慌てることはありませんでした。

最後になりますが、企業への就職に少しでも興味のある方は、是非インターンシップに参加することをお勧めします！ また、インターンシップに限らず、昨今の情勢を鑑みると、早い時期から就職活動に向けて動き出すことが大切だと思います。

博士インターンシップ報告会

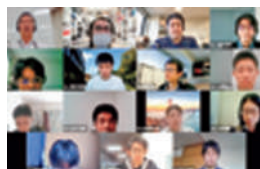
MC・DC・PD

主に民間企業への中長期インターンシップ(1ヶ月～3ヶ月程度)を体験した現役博士による体験報告会です。

2020年度実施状況

※オンラインで実施

2020年度受講者アンケートより



インターンシップに至るまでの流れと詳細な業務内容、そしてその後について詳しく聞くことができてよかったです。

求めている人物像をIR資料などから読み解き、自分の持っているスキルやバックグラウンドと照らし合わせて自己PRを作っていた話がとても参考になりました。

連携型博士人材育成コンソーシアム

COFRe(大学間連携)

連携型博士研究人材総合育成システム
イノベーション創出人材連携育成
プログラム

2014年10月に文部科学省に採択された、連携型博士研究人材総合育成システムの構築事業により、北海道大学が代表機関となり、東北大学・名古屋大学の3大学のコンソーシアムが発足しました。現在は大阪大学、筑波大学、新潟大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、立命館大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学とも連携し12大学に規模が拡大しています。本コンソーシアムでは各大学が独自に設計、推進している博士課程学生(DC)や博士研究員(PD)に対する洗練されたキャリアパス多様化支援プログラムのうち、相互に内容の補強、補完が期待できるものを選定し、どの大学からも参加できるようにすることで、コンソーシアム形成のメリットを最大限生かした一層効果的な人材育成プログラムを構築します。これにより、例えば本学の赤い糸会に他の11大学からも参加できますし、11大学が実施する様々なプログラムに北大から参加も可能となります。参加希望者はまずHi-Systemに登録し、ご利用ください。

コンソーシアム活動 (北大が代表校)



外国人DC・PDのための

I-HoP

外国人DC・PDを支援!

Graduate Career Development for International Students and Researchers

CAREER LINK MEETUP

-For international DC and PDs-(英語版赤い糸会)

外国人DC・PD

- 1.全編英語で行う赤い糸会!
- 2.応募時点で日本語力を求めない企業との直接交流!
- 3.外国人博士の日本での活躍の可能性を広げる!



国内でも極めて珍しい「博士向け」+「使用言語:英語」のマッチングイベントです。2019年初開催、2020年度は新型コロナウイルスの状況を鑑み、オンラインで実施しました。企業7社~9社、外国人博士人材20~30名が参加し、日本語の赤い糸会同様に、企業からのショートトーク、博士研究者による研究スキルやキャラクターの発表、企業のブースセッションにより、密度の高い交流を行いました。I-HoPでは今後も継続して開催したいと考えており、応募時点で日本語力を要求しない(英語で採用の可能性のある)企業の情報を収集しています。

2021年度実施予定

年1回程度実施予定 外国人DC・PD対象

これまでの参加企業

(敬称略、AtoZ順)

- AWL, Inc.(アウル) ■Cambridge Consultants Japan Inc(ケンブリッジコンサルタンツ)
- Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.(中外製薬) ■INDETAIL Co., Ltd.(インディテール)
- KPMG Ignition Tokyo, Inc. ■Mitsubishi Aircraft Corporation(三菱航空機)
- NEC Corporation(日本電気) ■Rakuten Mobile, Inc.(楽天モバイル)
- Ridge-i Inc.(リッジアイ) ■ROHTO Pharmaceutical Co., Ltd.(ロート製薬)
- Sanoh Industrial Co., Ltd.(三桜工業) ■Shiseido Company, Limited(資生堂)
- Sony Corporation(ソニー)

参加者アンケートより

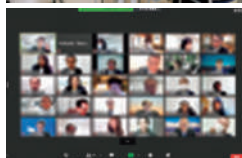
-Great opportunity to network with companies.

-Very helpful to international students to find job & study the Japanese culture in job hunting process.

-Educative, informative and great opportunity to meet hiring managers.

-Good event, very helpful for non-Japanese speaker.

-I found out that my research field has better job opportunities than I thought



移転可能研究力強化セミナー

外国人DC・PD

- 1.英語による多様なセミナーを開催!
- 2.海外の研究者との交流!
- 3.視野をグローバルに広げる!



研究力強化、キャリアパス多様化等を目的として「英語論文執筆セミナー」「日本でのビジネスマナー」「海外の研究者による講演」等の多様なセミナーを英語で開催しています。2020年度はオンラインでのセミナーを数多く実施し、新型コロナウイルスの状況下でも多面的なキャリア支援を展開しています。

2021年度実施予定

調整中

DC・PD対象(日本人含む)



2020年度開催セミナー(一部)

-Important Points for Journal Submission

-Research opportunities outside academic institutions

-Japanese workplace communication & Business manners and online interviews

-Potential Long-term Effects of the Coronavirus Pandemic in the Research Community

-How to write "Entry-sheet" appealing to Japanese industries

-Drug Development in the Pharmaceutical Industry

-Time Management

人材育成本部におけるS-cubic活動のご紹介

北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション
業務実施責任者
教授 出村 誠



人材育成本部のS-cubicでは、大学院学生(MC・DC)や博士研究員(PD)等若手研究者に対し、多様なキャリアパスを開くための能力開発プログラムを提供しています。これは科学技術・知識に基づく高度な研究力を有する研究者が社会の多様な分野において責任ある立場で活躍するために必要なスキル(Transferable Skills)を提供するプログラムです。

平成18(2006)年度にS-cubicがスタートして以来、多くの企業や教員の方々のご協力を得、10年以上の試行錯誤と改良を重ね、「Advanced COSA」、「キャリアパス多様化支援セミナー」、「赤い糸会」等の厳選されたプログラムを開発・普及・定着に努力し、さらに「キャリアマネジメントセミナー」、「博士力実践インターンシップ」、「Advanced COLA」などの新プログラムを軌道に乗せることができました。

平成23(2011)年度以降はこれらプログラム単独、あるいは組み合わせで4つの科目を大学院共通授業科目として単位化しました。これ以外にも、MC・DC・PDと企業の登録制Webコミュニケーションシステム「Hi-System」、DCやPD専用の進路相談窓口「J-window」等のサポート機能を充実させています。その結果、多くの企業の方々から、「ぜひ北大のプログラムから採用を検討したい」などの嬉しい

コメントが寄せられており、これは15年以上のS-cubic活動の積み重ねの成果と考えています。

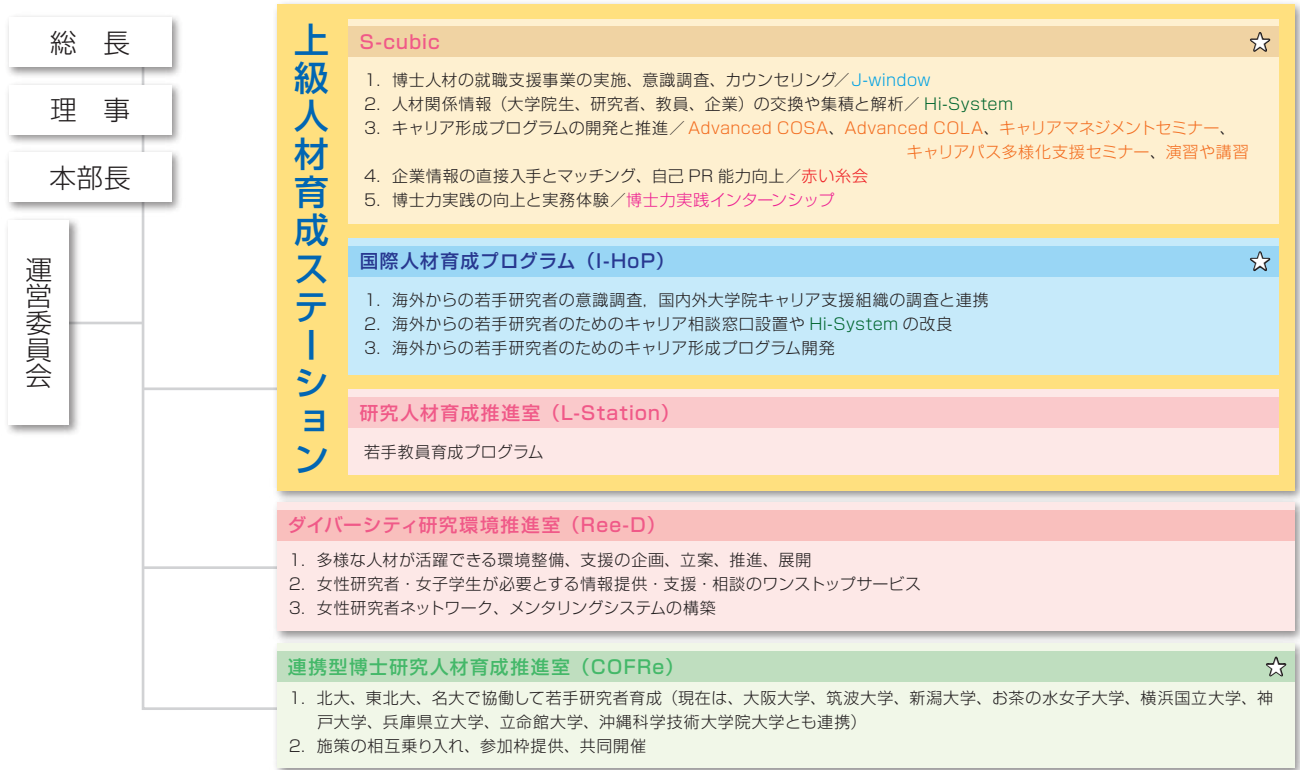
また平成26(2014)年度秋から、本学と同様に人材育成プログラムを展開している東北大および名古屋大の3大学がコンソーシアムを組み、それぞれのプログラムに相互乗り入れ、参加枠提供などの協働ができるようになったことで、ますますその内容が充実しています。さらに3大学コンソーシアムは新たな参加大学を迎え、令和2(2020)年度までに12大学まで発展することとなり、その人材育成プログラム群は多様な若手人材が集う場としていっそうの広がりを見せています。これらの実態については、本冊子「S-cubic通信」に詳しく記載しましたので、ぜひ一読下さい。

S-cubicは、皆さんが自らの進路やキャリアを開拓していくために必要なスキルを身に付けるための情報や産業界とのマッチングの場等を提供します。まずHi-Systemに登録しプログラムに参加してみてください。きっと視野が大きく広がると思います。またプログラム参加経験者は仲間にその情報を是非伝えてください。皆さんのご活用を期待しています。

人材育成本部

組織と役割

人材育成本部では、博士後期課程学生(DC)や博士研究員(PD)のキャリアデザインのための育成支援、連携大学とのコンソーシアムを組むことによるそれらの施策の共有化、博士人材の採用・育成のための北大テニュアトラック制度の普及定着、学内外の連携による多様な研究人材の研究環境整備に取り組んでいます。



☆: DC・PDのキャリア支援チーム

2021年度実施プログラム(予定)

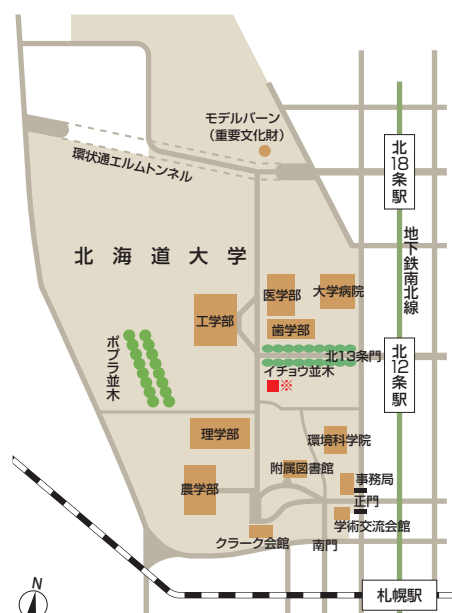
▽2021年度

アクティビティ	MC	DC	PD	単位
キャリアマネジメントセミナー	●	●	●	☆
キャリアパス多様化支援セミナーI(交渉学)	△	●	●	☆
キャリアパス多様化支援セミナーII(プロジェクトファシリテーション)	△	●	●	☆
キャリアパス多様化支援セミナーIII(知的財産)	●	●	●	☆
Advanced COSA(1)	●	●	●	☆
Advanced COSA(2)	●	●	●	☆
Advanced COLA	●	●	●	
ビジネスマナーの基本と実践	△	●	●	
マスコミ関連就活のための作文の考え方	△	●	●	
エントリーシート書き方セミナー	△	●	●	
第46回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
第46回赤い糸会(赤い糸ONLINE)	×	●	●	☆
第47回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
第47回赤い糸会(赤い糸ONLINE)	×	●	●	☆
第48回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習	×	●	●	☆
第48回赤い糸会(赤い糸ONLINE)	×	●	●	☆
博士インターンシップ体験報告会	●	●	●	

●受講対象 ○条件付き受講対象 △イベント開催案内参照 ×受講対象外

☆単位取得要件についてはシラバスを参照

※詳細日程や時間等はホームページでご確認ください。
 [URL] <https://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic>



北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション S-cubic

〒060-0812
 札幌市北区北12条西7丁目
 中央キャンパス総合研究棟1号館 1階

TEL: 011-706-3275 FAX: 011-706-3584
 E-mail: s-cubic@synfoster.hokudai.ac.jp
 URL: <https://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic>



【発行元】北海道大学 人材育成本部 上級人材育成ステーション S-cubic
 【発行日】2021.3.15